

一般質問通告書一覧表

令和7年第3回定例会

質問 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	一 問 一 答	無藤智恵美 議 員	誰もが自由に移動できる交通ネットワークの実現に向けて	①これまでの地域交通政策の対象者、その成果と課題 ②地域交通にかかる予算の総計 ③通学における公共交通の現状と将来展望 ④交通を一部の人のための福祉としてではなく誰もが自由に移動できる地域インフラとして捉え直すべきだと思うが、その見解は ⑤こうした状況の改善にデマンド交通の導入を検討すべきと考えるが、見解は ⑥予想されるコストと導入方法 ⑦導入のメリット・デメリットはどう考えているのか ⑧ステークホルダーとの合意形成は ⑨運行へつなげるためのステップは ⑩思い切った予算配分と財源確保の見通しについて ⑪本市にとっての誰もが自由に移動できる交通サービス導入の持つ意義について	市長 地域振興部長 教育部長
2	一 問 一 答	椎 野 隆 議 員	①住宅支援策について	①住宅支援策の現状(子育て支援・定住促進) ②今後の方針	市長 地域振興部長
			②保護司の待遇について	①現在の保護司の人数(不足の人数はあるのか) ②安全を重視して支援をしているか	保健福祉部長
			③墓じまいへの支援について	①墓じまいの相談があります。市役所への相談はあるか ②他の自治体でも支援をしているところがある。本市でも支援をしてはどうか。	副市長 市民生活部長
3	一 問 一 答	根 本 浩 議 員	九十九折りのように、曲がりくねった農業政策について	それでも農は命綱 猫の目農政の極み 農業機械への補助 本市では農家への応援をどのように行おうとしているのか伺います。	市長 地域振興部長

質問 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
4	一 問 一 答	山 本 彰 治 員	1. 廃止の予定となっている江戸崎地区のコミセンの今後の活用方法について	コミュニティセンターは、江戸崎地区に平成当初に各小学校区に建てられました。現在は地区の集会所として、また、避難所や児童クラブ、選挙の際の投票所として、活用されています。廃止という素案が議会にも報告されましたが、今後の予定と、活用方法について伺います。	市長 市長公室長
			2. 市内に97ある行政区の今後について、集会所の建替えなども含め、整理統合を考える時ではないか	合併当初は、114の行政区があり、戸数が減少してきたいくつかの行政区は統合され、現在は97の行政区があります。200戸以上あるところから、最小では、25戸でひとつの行政区というところもあります。市民が行政区に必ずしも入っている現状ではないことや、各行政区は法人化されていないところが多く、地区の公民館が建替えできないことなど、抱える多くの課題について、どのように検討していくかを伺います。	市長 総務部長 地域振興部長
5	一 問 一 答	浅 野 信 行 員	1. 小学生の熱中症対策について	熱中症対策についての現状、登下校時における熱中症対策について伺います。	教育長 教育部長
			2. HPV感染予防について	宮崎市では、子宮頸がんなどの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を予防するワクチンに関して、小学6年生から高校1年生までの接種費用を全額助成する支援事業を推進しているそうです。本市のHPV感染予防の取組みについてご所見を伺います。	市長 保健福祉部長
6	一 問 一 答	高 山 久 員	自治体の意思決定プロセスと庁内ガバナンスについて	①市内小中学校再編整備実施計画の進め方について ②本市における図書館の在り方について ③防災拠点施設整備の必要性について	市長 副市長 教育長 教育部長 危機管理監

質問 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
7	一 問 一 答	高野貴世志 員	1. 稲敷市の 防災について	①地域と連携した防災教育の推進について ②地域住民を巻き込んだ防災訓練や講座などの開催実績と課題等は ③高齢者や外国人など、災害弱者に対する配慮はどのようにされているか	市長 副市長 危機管理監
			2. 稲敷市の 危機管理について	①本市の危機管理に関する組織体制の現状は ②市長ご自身の危機管理に対する基本姿勢は ③市長不在時の危機管理対応は ④本市の危機管理は必要に応じて外部雇用の検討をしているか	市長 副市長 危機管理監
			3. 小中学校 における防 災教育につ いて	①本市の小中学校において、防災教育はどのような形で実施されているのか ②救命救急（心肺蘇生法・AEDの使用など）の教育はどの程度行われているのか	市長 教育長 教育部長
			4. 救命サポ ーターTeam ASUKA の活 用について	本市の小中学校において、防災教育の一環としてチーム ASUKA を導入することを検討してはどうか	市長 教育長 教育部長
8	一 問 一 答	染谷久仁桂 員	1. 成田国際 空港に関す るこれまでの 答弁の進捗 状況について	成田国際空港の離発着機による音の問題について、これまでの答弁内容に対する具体的な進捗状況や対応策について伺います。	市民生活部長
			2. 稲敷の英 語教育に関 するこれま での答弁の 進捗につい て	本市の英語教育の現状とこれまでの答弁内容の進捗を伺います。	教育長
			3. 箕市長の まちづくり について	2018 年 11 月 25 日に箕市長が市長に就任した時の人口は約 42,900 人、現在約 35,600 人です。就任以降人口が 17%減っています。本市の人口減少をどう捉え、どのような構想で市政を担っていくのか。私たちのまちの「これから」を、まちづくりのリーダーである市長の口から直接伺います。	市長

質問 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
9	一 問 一 答	寺 崎 久 美 子 員	1. ゆたか幼稚園跡地利用について	令和6年度で閉園したゆたか幼稚園跡地の有効活用は地域はもとより市民の望みであります。早急な活用策について地域サロンの考えから伺います。	教育長 教育部長 保健福祉部長
			2. 稲敷市におけるＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）人生会議の普及啓発について	自分が大切にしていることや望む生き方を考え、家族や信頼する人、医療・介護関係者と繰り返し話し合う、共有するＡＣＰの取り組みがあります。高齢者福祉計画第9期介護保険事業計画やこれまでの未来へのメッセージ・エンディングノート終活支援ノートの配布を含めた普及啓発について伺います。	市長 副市長 保健福祉部長
10	一 問 一 答	鈴 木 正 志 員	児童・生徒の救急搬送時における「選定療養費」の対応について	昨年12月2日から、本県では救急搬送された際に緊急性がないと判断された場合に「選定療養費」を徴収する制度が始まりました。そこで、市内の小・中学校の児童・生徒が救急搬送された際に緊急性が認められなかった場合の「選定療養費」の対応について伺います。 ①災害共済給付制度の掛金及び加入状況について ②災害共済給付制度の適用範囲について ③過去3年間の事故等発生件数（小・中学校別）及び救急搬送要請件数について ④救急搬送における選定療養費徴収の周知について ⑤保護者が「選定療養費」を負担することに対して不満を申し立てた場合の対応について ⑥「選定療養費」の適用除外措置について ⑦「選定療養費」の全額補助制度の創設について	市長 教育長 保健福祉部長 教育部長